

議会の手帖

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

臨時号

令和7年度
女性議会



いちにち女性議会

令和8年1月30日（金）午前9時より、犬山市役所6階議場で開催をいたしました。
11名のいちにち女性議員がそれぞれの思いを込めた質問を記載しましたので是非ご覧ください。

当日の様子は YouTube にて配信しています ⇒



子育て世帯に犬山市へ
移住してもらったための
未来園整備について



深尾あかね

Q 他市町に比べて犬山市は公立の保育園が多いのはなぜか。

A 現在、未来園の統合が行われているが、統合されない未来園の整備方針はいかがか。保育ニーズの低年齢化に伴い、小規模保育園の民間運営を進めたらどうか。

Q 現在の認可保育所数は、公立10園、私立3園です。当市は民間に頼らず市で施設整備を行い、保育の受け皿を確保してきました。未来園の統廃合については、建築年数や地域的事情を考え順次進めます。統合されない園は児童の生命、安全を最優先とし空調機器を順次計画的に更新などとしています。

A 公立園と民間の保育園の運営の様々を検証しながら、今後の在り方を検討していきたいと思っています。また、少子化と3歳未満児の保育ニーズ、待機児童の推移など、総合的に注視しながら、小規模保育園のあり方を考えていきたいと思っています。



犬山市の高齢者支援
における介護者・
同居家族支援について



松山侑里子

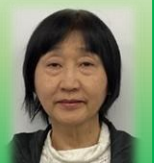
Q 自宅で同居していた祖父の介護を家族で経験し、入浴や排せつ介助など苦労した。要介護・要支援者の介護者や家族をケアする支援は、どんな取組をしているのか。また、周知方法には何かがあるか。また、相談できる場所を身近な施設に移転などできないか。

A 市内5カ所の高齢者あんしん相談センターの職員が訪問し、専門的な助言やサービスの提案を行ったり、介護者家族会場の場を設けております。事業の周知は市HPや広報、センター職員の訪問時など様々な機会に案内していますが、更なる周知に努めてまいります。相談は高齢者あんしん相談センターが中心で対応しています。職員の訪問と電話による相談が大半で、職員の確保も容易ではないため、同センターで対応していきます。

A 高齢者あんしん相談センターには、職員を一人づつ増員し、人材育成にも取り組んでいます。体制を整えて充実するよう全力を尽くしていきたいと思っています。



小中学校体育館の
空調整備について



宮田さゆり

Q 地球温暖化の影響で、5月から10月頃まで暑い日が続いている。子どもたちが楽しく安心して過ごすために小中学校の体育館に空調整備を早く進めてほしい。9月議会でも議論されていたが、現在の進捗状況はどうなっているか。

A 例年の猛暑により、夏の体育館での運動は熱中症のリスクが高いと認識しています。また、小中学校は災害時の避難所に指定されているため、エアコンの設置は優先的に取組む必要があると考え、2ヶ年にわたって設置する方向で検討しています。また、コスト面や能力面を考慮し、適切な機器の選定など検討を進めてまいります。

A 小中学校14校のエアコン、クーラーの設置について議論を重ねているところです。市と市議会、市民のみなさんと一体となって小中学校の体育館のエアコン、スポットクーラーの設置について、積極的に進めていきたいと思っています。



若者に親しまれる
観光地を目指して



堀畑 月望

Q 学生が実際に観光地を訪れ、体験を通して感じた魅力を自身の言葉で発信することで、これまで犬山市の観光に触れる機会が少なかった若い世代にも情報を届けることができる。そこで、観光地へ学生が実際に向歩き、体験できる学生参加型のモニターツアーを行うことはできないか。

A 現在、学生に特化したようなモニターツアーや意見交換の場は観光施策としては設けてはおりませんが、学生の方々のような若い方の視点から、当市の魅力を発見・発信してもらおうという取り組みも必要な要素になると考えておりますので、今後の展開の一つとして参考とさせていただきますと思います。

A 昨年11月にSTATION A iと一緒になって、イノベーションコンテストを実施しました。こうした新しい企画が実施できたことを契機に、若い人はもちろん、多くの皆さんに当市を訪れていただくような在り方をさらに考え、来る人には楽しんでもらい、住む人に喜んでもらえるような、持続可能な観光まちづくりを考えていきたいと思えます。



魅力ある観光地づくり
に向けた取組について



石川 優佳

Q 観光地としての利便性向上のためにも多言語対応やイラストを活用した、より見やすい案内パンフレットなどの整備が必要。栗栖地区の観光振興を目指した桃太郎伝説「ももちゃん」をはじめ、いぬ、さるなどのキャラクターをもっと使って、更に見やすいパンフレットや案内図をつくったらどうか。

A 犬山キャンペーンでは総合的な誘客宣伝物でありながらも、戦略的なターゲット層に向けたデジタルを作成するなど、調整を施しながらパンフレット等を作成し、配布しています。提案いただいた犬山商工会議所にて展開中の木曾川桃太郎外伝のイラストなどについても、注力したいターゲット層に向けて合致する内容等があれば、必要に応じ、会議所と連携をしていきたいと考えております。

A 木曾川河川空間は、芸術文化が集約された新しい犬山づくりの可能性とチャンスがあります。2030年に桃太郎神社百年を迎え、当市で桃太郎サミットを開催する予定です。そのときにこそ、この「ももちゃん」を大いに活かしながら、その可能性を探っていききたいと思えます。



歩道の整備と管理に
ついて



玉置久美子

Q 子どもと自転車で走る中、草が伸びて危険を感じることもある。歩道の整備と管理はどうなっているのか。安全と自然を残すことへのバランスをどう考えるのか。常緑樹へ切り替えることは可能か。また、雑草が生えないように垣根を撤去し、コンクリートで埋めることはできるのか。

A 幹線道路では歩行者の安全確保や景観向上のため、植樹帯を設けています。除草は年2回、剪定は2年に1回実施しております。交差点付近では視認性向上のため、伐採や防草対策を進めております。常緑樹への植え替えは費用面から困難ですが、生活に支障がある場合は検討いたします。コンクリート施工も、部分的な実施は可能と考えておりますので、計画箇所以外は要望に応じ検討いたします。

A これまで3年に1回だった剪定を2年に1回へ見直し、600本以上を伐採しました。交通安全を第一に取り組んでいます。街路樹があつたほうがよいという声もあります。地域でよく話し合い、合意が得られれば、市として寄り添いながら対応してまいります。



物価高騰と非課税世帯以外の支援の考え方、施策について



加藤 恵実

Q いろいろな世代の方から、物価高騰であれもこれも削らなければならぬという声を聞く。生活していくこと自体が大変になっている。非課税世帯や子育て世代には支援があるが、それ以外の世代はただ税金を納めているだけのように感じているという声もある。物価高騰はどの世代にも同じように影響している。非課税世帯、子育て世代以外への支援策はあるか。あるなら具体的に示してほしい。

A 昨年12月に5億8730万円の交付が決定した国の交付金を活用し、全市民を対象に商品券の配布など6事業を選定しました。現時点でご提案の非課税世帯以外の世帯、子育てを終えた世代といった具体的な方々への支援は実施していませんが、市民生活の実態把握に努めてまいります。

A 物価高による不安は重く受け止めております。商品券配布や水道基本料金の無料化を提案いたしました。非課税世帯以外の多くの市民の実情も丁寧に把握し、必要な支援を検討してまいります。市民の皆さんが真ん中にいる優しく元気な犬山づくりを進めてまいります。



小学校のグラウンドやトイレなどの設備について



水野紀久美

Q 息子が以前より地域の野球スポーツ少年団員として東小学校を使用している。グラウンドは小石が多く、水はけも悪いため、子どもたちの安全に不安があり、さらに屋外トイレは和式のみで使いづらく、衛生面も心配。グラウンド環境の整備と屋外トイレの洋式化について、今後の改善予定を伺いたい。

A グラウンドの課題は把握しており、改善の必要性も認識していますが、まずは学校生活に大きな支障をきたしている部分の改善や改修を優先的に進めていくことを重視しております。屋外トイレの洋式化についても進めるべきものだと認識していますが、まずは校舎内のトイレ洋式化に向けた改修を優先的に進める方針です。

A 校舎の老朽化対策と自校式給食室の整備を重点事業とし、子どもたちの安心安全を最優先に進めます。グラウンドやトイレ整備も必要性を認識し、優先順位を見極めて対応してまいります。



絶滅危惧種マメナシの保全に対する市の方針



松本多美子

Q 絶滅危惧種のマメナシの保全について調査をして、市や県に要望書も提出した。市では調査を行ったものの、その後の保全活動は何もない。私たちは今後も犬山の自然の保全を課題として守っていくが、市としてのマメナシの自生地の保全に対する考えを伺いたい。

A ふるさとの自然を愛するスズサイコの会の皆様には感謝申し上げます。マメナシは国や県が指定する絶滅危惧種であり、生息調査を行っています。自生地の多くは民有地でモニタリング調査にとどまっています。自然環境を守ることの大切さを理解してもらえる人を増やし、保全につなげるため、様々な場面で自然環境の保全の大切さを伝えてまいります。

A 私からも心から感謝します。羽黒城址近くのマメナシの大き木が希少種だということを知っていただいたことを思い返しました。御会には環境サポーターに登録いただきました。誇るべき自然という地域資源を犬山としても大切にしていきたいと思っておりますので、これからも一緒にいただきながら、ご指導いただきまますようお願いいたします。



市の介護予防策について



脇 美紀子

Q 高齢社会において、要介護状態を防ぐためにフレイル予防は重要である。遠方への外出が困難な高齢者に対し、どのように介護予防を進めていくのか。また、徒歩圏内の公共施設の活用、地域密着型サロンを行うにはどんな課題があるか。オンラインを活用した介護予防事業について検討できないか。

A 遠方への外出が困難な高齢者に対しては、地域のサロンを紹介しています。市内には現在237の高齢者サロンがあり、多くの地域で徒歩圏内にサロンが十分にあると考えます。人員の派遣は、健康づくり推進員の出前体操講座など一定の支援はできています。課題は、サロンが継続できるかという点で、担い手の支援や育成が必要だと考えています。オンラインの活用は、需要など見極めた上で検討いたします。

A サロンが237ある市は、近隣市町になく犬山の誇りです。市はサロンを中心に展開し、活動を支援してまいります。オンラインは高齢者の事情など情報収集し、今後のあり方を考えていきます。



包括的性教育の導入とDV対策基本計画に関して



間中 すず

Q 包括的性教育の位置づけを問う。外部教材を活用することは教員負担軽減に有効と考えるが、一過性ではなく、継続的、体系的な仕組みづくりを求める。DV対策基本計画では、女性に限らず男性やLGBTQも明確に対象とする表現整理はできないか。

A 包括的性教育は、人権尊重を基盤に重要な分野と認識しております。「いのちの学習」芽吹き」で9年間体系的に学習を実施しており、教員研修や地域の人材活用等体制の充実を図っていきます。DV対策基本計画は、法に基づき策定しております。次期計画でより明確な表現を検討してまいります。

A 包括的性教育は、今後も継続して取り組むべき重要施策と認識しております。外部教材も活かし、専門家と連携し推進してまいります。DV対策基本計画についても分かりやすい表現を意識しながら、計画策定を進めてまいります。



議会の手帖【臨時号】

女性議会実行委員会とサポート議員

市議会では令和7年5月に、女性議会実行委員会を立ち上げ、岡村委員長を中心に当日まで準備を進めてまいりました。
委員会で案内チラシを作成、10月から参加者を募集し、11名の方にご応募いただきました。
いちにち女性議員の方には、実行委員会委員とサポート議員が一人ずつ担当議員となり、質問内容の打合せや、答弁する担当課への聞き取り、議場でのリハーサル等、当日までサポートしました。

◆女性議会実行委員会

委員長 岡村 千里
副委員長 玉置 幸哉

島田 亜紀
小川 清美
沼 靖子

◆サポート議員

光清 毅
小川 隆広
諏訪 毅
岡 覚



いちにち女性議員 参加者募集！
大山市にあなたの声を届けてみませんか

いちにち女性議会

Let's meet up!

2026年
1.30 金

9:00-14:00

会場 大山市役所 6階 議場

対象 市内在住・在勤・在学の平成22年4月1日以前出生の女性
定員 10名（既元 候補数）
申込方法 1. 議員選挙申込書（裏面）に必要事項を記入。申込日（11月7日）まで届くまで。2. 7月1日までの方法でご届出ください。
※ 議会事務局へ直接届出
※ 郵送
※ 申込みフォーム

申込フォームはこちら
女性議会実行委員会事務局

お問い合わせ先
大山市議会事務局
☎0568-44-0307

編集後記

女性議会実行委員会

委員長 岡村 千里



いちにち女性議員のみなさま、それぞれの立場から市政の課題に向き合い、心のこもったご発言をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

今回は、お子さんをおんぶして登壇したい、一問一答でやりたいなど、さまざまな要望が寄せられ、みなさまに寄り添った形で行うことができました。

このような取組みを通して、市議会への関心を高め、一人でも多くの女性議員の誕生に結びつくことを期待しています。